



2023年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年4月10日

上場会社名 株式会社ワッツ 上場取引所 東
 コード番号 2735 URL https://www.watts-jp.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平岡 史生
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長 (氏名) 森 秀人 TEL 06-4792-3280
 四半期報告書提出予定日 2023年4月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期第2四半期の連結業績 (2022年9月1日～2023年2月28日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第2四半期	29,550	3.7	271	△57.3	270	△60.1	292	△19.1
2022年8月期第2四半期	28,506	11.3	637	△41.3	678	△36.4	361	△54.8

(注) 包括利益 2023年8月期第2四半期 277百万円 (△23.2%) 2022年8月期第2四半期 361百万円 (△52.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第2四半期	21.53	—
2022年8月期第2四半期	26.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第2四半期	25,401	12,014	47.3
2022年8月期	25,600	11,931	46.6

(参考) 自己資本 2023年8月期第2四半期 12,005百万円 2022年8月期 11,927百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2023年8月期	—	0.00			
2023年8月期 (予想)			—	15.00	15.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年8月期の連結業績予想 (2022年9月1日～2023年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,500	3.7	920	△7.9	850	△26.0	530	△32.2	39.04

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
除外 1社 （社名）株式会社普通エフ・リテール

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年8月期2Q	13,898,800株	2022年8月期	13,898,800株
② 期末自己株式数	2023年8月期2Q	317,692株	2022年8月期	323,487株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年8月期2Q	13,578,154株	2022年8月期2Q	13,439,316株

（注）役員向け株式交付信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2023年8月期2Q ー株、2022年8月期2Q 56,354株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきたことに加え、行動制限のない年末年始や、政府による全国旅行支援の断続的な実施と光熱費補助等もあって、個人消費は回復基調で推移いたしました。ただし、食品を中心に値上げが毎月のように発表され、消費マインドの復調とまでは言い切れない状況が継続いたしました。企業部門では、海外からの水際対策の緩和に伴うインバウンド需要の増加を受けたサービス業の回復や、半導体不足の改善、資源価格の下落傾向がプラスに作用いたしました。一方で、今後見込まれる海外景気の減速に伴う外需の減少や、労働需給のひっ迫による人手不足が懸念される環境は不変でした。

このような環境のもと、100円ショップ「Watts (ワッツ)」「Watts with (ワッツ ウィズ)」「meets. (ミーツ)」「silk (シルク)」等を展開する当社グループは、収益源の多角化を図るべく、国内100円ショップ事業だけでなく、ファッション雑貨店やディスカウントショップの運営等の国内その他事業、並びに海外事業にも取り組んでおります。

国内100円ショップ事業につきましては、「ワッツオンラインストア」に「Buona Vita (ブオーナ・ビータ)」「Tokino:ne (ときのね)」の商品の他、オンラインショップ限定商品も導入し、掲載商品数は約1万9千アイテム以上と大幅に拡充いたしました。

また、精算業務の効率化による生産性向上等を目的にキャッシュレス専用のセルフPOSレジ導入を進めるとともに、既存店舗のブラッシュアップを図るため、ハンドメイド関連コーナーの導入やリニューアルを順次行っております。

出店状況につきましては、通期計画の236店舗に対して104店舗の出店を行いました。一方で不採算店舗の整理や母店閉鎖等による退店が53店舗(うちFC2店舗)あり、当第2四半期連結会計期間末店舗数は、直営が1,671店舗(53店舗純増)、FCその他が21店舗(2店舗減)の計1,692店舗となりました。また、Wattsブランド店舗である「Watts」「Watts with」については、1,131店舗(102店舗純増)と全体の66.8%となりました。

国内その他事業につきましては、心地よい生活を提案する雑貨店「Buona Vita」は15店舗(8店舗減)となりました。店舗数減少の主な要因は、2022年9月1日付で100円ショップを営む(株)ワッツ東日本販売が「Buona Vita」を営む(株)ワッツ・コネクションを吸収合併したため、当社100円ショップ内に出店していた「Buona Vita」の委託販売型店舗6店舗を店舗数から除外したことによるものです。

時間をテーマにしたおうち雑貨店「Tokino:ne」は直営2店舗(増減なし)に加え、当社100円ショップへのコーナー展開を約200店舗で開始いたしました。生鮮スーパーとのコラボである「バリュー100」は1店舗(増減なし)、ディスカウントショップ「リアル」は5店舗(1店舗減)となっております。

海外事業につきましては、東南アジアを中心とした均一ショップ「KOMONOYA (こものや)」は、タイで32店舗(5店舗減)、ペルーで15店舗(1店舗増)となりました。中国での均一ショップ「小物家園 (こものかえん)」は、4店舗(増減なし)となっており、自社屋号の「KOMONOYA」「小物家園」の店舗数は51店舗(4店舗純減)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は29,550百万円(前年同期比3.7%増、計画比99.7%)と増加いたしました。

仕入原価の高騰、食品売上の構成比が上昇したこと等により、売上総利益率は予想を下回る結果となりました。また、比較的大型な店舗の出店、改装が多かったことや、光熱費の増加等により、営業利益は271百万円(前年同期比57.3%減、計画比71.6%)、経常利益は270百万円(前年同期比60.1%減、計画比79.7%)となりました。

また、当社連結子会社間の組織再編に伴い法人税等調整額(益)を計上したことを主因として、親会社株主に帰属する四半期純利益は292百万円(前年同期比19.1%減、計画比132.9%)となりました。(前年同期比は前年同四半期連結累計期間実績比、計画比は2022年10月11日の決算短信で公表した2023年8月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想比であります。)

なお、当社グループの事業は、100円ショップの運営及びその付随業務の単一セグメントであるため、セグメントの記載をしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は18,315百万円となり、前連結会計年度末に比べ245百万円減少いたしました。これは受取手形及び売掛金が456百万円、現金及び預金が53百万円、それぞれ減少した一方、商品及び製品が303百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は7,085百万円となり、前連結会計年度末に比べ46百万円増加いたしました。これは繰延税金資産が155百万円、工具、器具及び備品が56百万円、それぞれ増加した一方、無形固定資産のその他に含まれるソフトウェアが82百万円、のれんが65百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

この結果、総資産は25,401百万円となり、前連結会計年度末に比べ199百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は9,761百万円となり、前連結会計年度末に比べ171百万円減少いたしました。これは支払手形及び買掛金が382百万円、流動負債のその他に含まれる未払金が129百万円、未払法人税等が62百万円、それぞれ減少した一方、電子記録債務が422百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は3,625百万円となり、前連結会計年度末に比べ110百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が127百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は13,387百万円となり、前連結会計年度末に比べ282百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は12,014百万円となり、前連結会計年度末に比べ83百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が88百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は47.3%（前連結会計年度末は46.6%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ53百万円減少し、6,633百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は596百万円（前年同四半期は915百万円の獲得）となりました。収入の内訳は売上債権の減少額455百万円、減価償却費297百万円、税金等調整前四半期純利益182百万円であります。支出の主な内訳は棚卸資産の増加額309百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は425百万円（前年同四半期は570百万円の使用）となりました。主な内訳は有形固定資産の取得による支出347百万円、敷金及び保証金の差入による支出75百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は220百万円（前年同四半期は0百万円の獲得）となりました。主な内訳は長期借入金の返済による支出413百万円、配当金の支払額203百万円、長期借入れによる収入300百万円、短期借入金の純増加額100百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年10月11日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,687,848	6,633,862
受取手形及び売掛金	2,687,168	2,230,248
商品及び製品	8,734,082	9,037,098
原材料及び貯蔵品	25,847	19,427
未収消費税等	22,876	13,658
その他	431,169	405,307
貸倒引当金	△27,599	△23,609
流動資産合計	18,561,392	18,315,993
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,008,560	4,078,468
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,951,551	△3,003,734
建物及び構築物(純額)	1,057,009	1,074,733
車両運搬具	32,337	33,761
減価償却累計額及び減損損失累計額	△26,989	△28,394
車両運搬具(純額)	5,348	5,367
工具、器具及び備品	4,882,184	5,041,314
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,061,385	△4,164,103
工具、器具及び備品(純額)	820,798	877,210
土地	257,800	257,800
リース資産	111,042	111,042
減価償却累計額及び減損損失累計額	△101,363	△103,215
リース資産(純額)	9,678	7,826
建設仮勘定	5,000	—
有形固定資産合計	2,155,635	2,222,938
無形固定資産		
のれん	538,691	472,729
その他	567,785	485,133
無形固定資産合計	1,106,477	957,862
投資その他の資産		
投資有価証券	350,185	321,183
繰延税金資産	523,698	679,308
差入保証金	2,765,694	2,770,637
その他	144,709	141,401
貸倒引当金	△7,238	△7,899
投資その他の資産合計	3,777,048	3,904,630
固定資産合計	7,039,161	7,085,431
資産合計	25,600,554	25,401,425

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,943,822	3,560,830
電子記録債務	3,801,090	4,223,923
短期借入金	—	100,000
1年内返済予定の長期借入金	694,163	707,510
未払法人税等	124,876	62,118
未払消費税等	170,774	109,429
賞与引当金	126,657	150,934
その他	1,071,372	846,330
流動負債合計	9,932,757	9,761,077
固定負債		
長期借入金	2,311,910	2,184,890
退職給付に係る負債	412,913	441,173
役員退職慰労引当金	34,295	36,042
資産除去債務	646,815	665,818
その他	330,844	298,054
固定負債合計	3,736,777	3,625,978
負債合計	13,669,535	13,387,056
純資産の部		
株主資本		
資本金	440,297	440,297
資本剰余金	1,348,550	1,350,605
利益剰余金	10,214,752	10,303,427
自己株式	△133,386	△130,420
株主資本合計	11,870,213	11,963,910
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,962	2,800
為替換算調整勘定	51,854	39,118
その他の包括利益累計額合計	56,816	41,919
新株予約権	3,989	8,539
純資産合計	11,931,019	12,014,368
負債純資産合計	25,600,554	25,401,425

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
売上高	28,506,628	29,550,968
売上原価	17,592,437	18,381,185
売上総利益	10,914,191	11,169,783
販売費及び一般管理費	10,277,039	10,897,801
営業利益	637,151	271,981
営業外収益		
受取利息	1,126	2,065
為替差益	32,927	—
受取ロイヤリティー	1,414	2,660
受取補償金	5,016	26,944
補助金収入	15,247	1,789
その他	7,587	6,415
営業外収益合計	63,320	39,875
営業外費用		
支払利息	4,979	5,444
退店違約金	5,760	9,143
持分法による投資損失	1,275	13,048
支払補償費	7,435	—
為替差損	—	9,231
その他	2,302	4,110
営業外費用合計	21,753	40,978
経常利益	678,718	270,879
特別利益		
保険解約返戻金	6,246	—
投資有価証券売却益	—	1,810
役員株式給付引当金戻入益	29,777	—
特別利益合計	36,023	1,810
特別損失		
固定資産除却損	18,625	5,546
減損損失	56,992	84,198
災害による損失	1,248	—
特別損失合計	76,866	89,744
税金等調整前四半期純利益	637,875	182,945
法人税、住民税及び事業税	276,468	52,978
法人税等調整額	54	△162,337
法人税等合計	276,523	△109,359
四半期純利益	361,352	292,304
親会社株主に帰属する四半期純利益	361,352	292,304

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
四半期純利益	361,352	292,304
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,784	△2,161
為替換算調整勘定	4,094	△9,369
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,507	△3,365
その他の包括利益合計	△197	△14,896
四半期包括利益	361,154	277,407
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	361,154	277,407

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	637,875	182,945
減価償却費	267,581	297,398
減損損失	56,992	84,198
のれん償却額	54,968	65,962
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,409	△3,329
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,989	24,276
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	79,665	28,260
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,091	1,747
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	△93,938	—
受取利息及び受取配当金	△1,219	△2,158
支払利息	4,979	5,444
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△1,810
固定資産除却損	18,625	5,546
売上債権の増減額 (△は増加)	435,247	455,204
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△156,019	△309,879
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,511	39,766
未払消費税等の増減額 (△は減少)	48,566	△52,495
その他	△40,986	△177,317
小計	1,314,498	643,758
利息及び配当金の受取額	1,199	2,170
利息の支払額	△4,787	△4,974
法人税等の支払額	△395,619	△125,162
法人税等の還付額	—	80,860
営業活動によるキャッシュ・フロー	915,291	596,651
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△195,572	△347,742
有形固定資産の除却による支出	△14,520	—
無形固定資産の取得による支出	△83,485	△37,819
敷金及び保証金の差入による支出	△495,180	△75,794
敷金及び保証金の回収による収入	31,618	50,436
資産除去債務の履行による支出	△5,174	△26,500
投資有価証券の売却による収入	—	11,125
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の 取得による収入	191,877	—
その他	300	300
投資活動によるキャッシュ・フロー	△570,138	△425,995
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△200,000	100,000
長期借入れによる収入	2,900,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△2,393,092	△413,459
リース債務の返済による支出	△10,192	△3,675
配当金の支払額	△295,916	△203,713
財務活動によるキャッシュ・フロー	798	△220,848
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,658	△3,795
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	355,609	△53,986
現金及び現金同等物の期首残高	6,169,208	6,687,848
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,524,818	6,633,862

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。